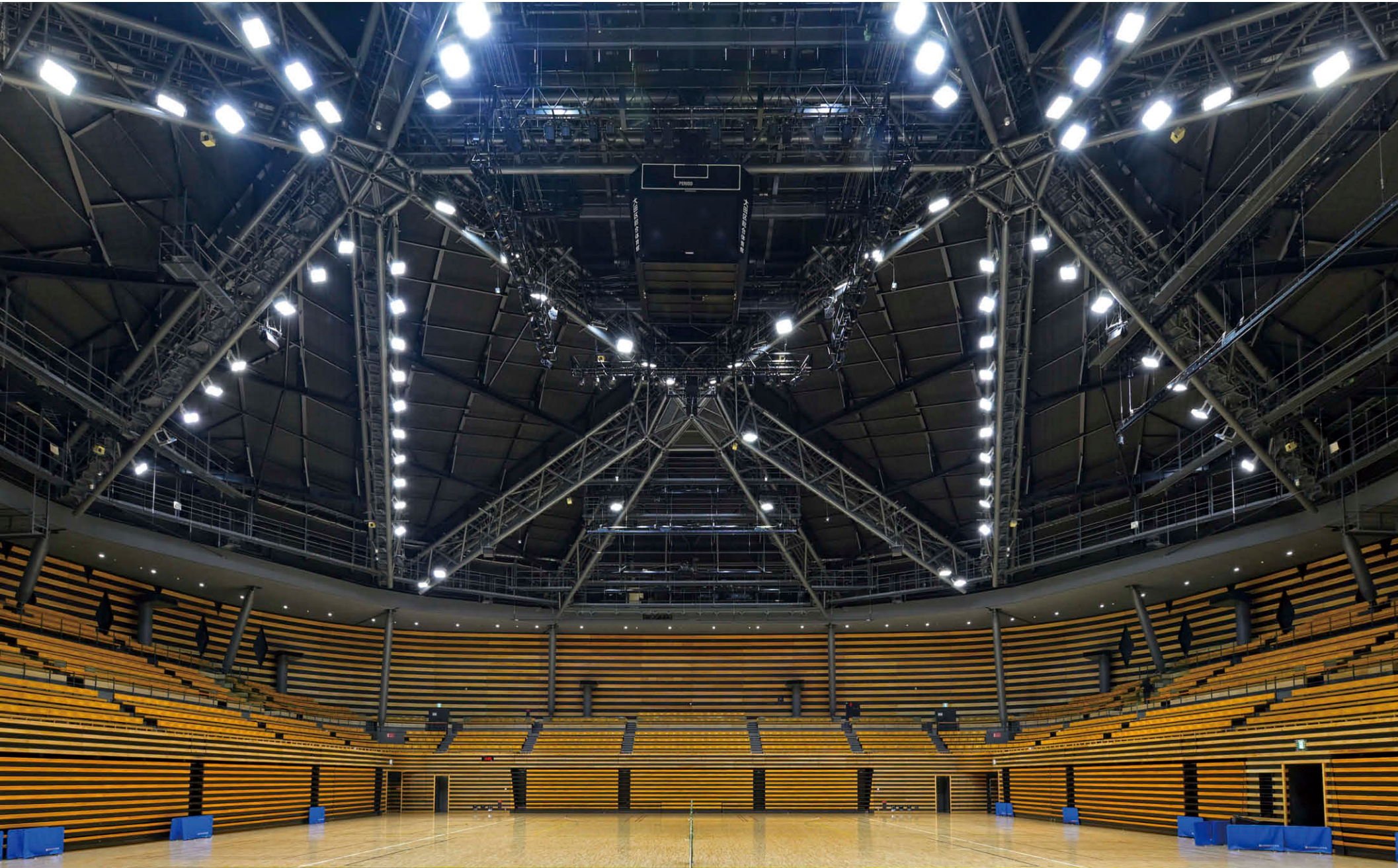


「みる」スポーツと、「する」スポーツを基本コンセプトに整備された大田区総合体育館が、メインアリーナ、サブアリーナなどの照明をLED器具へ更新。大幅な消費電力削減を可能にし、そのうえで明るさも向上。「みる」観客にとっても「する」競技者にとっても、より快適なスポーツ照明を実現しています。

2012年に開館した大田区総合体育館は、京急線梅屋敷駅から徒歩5分、京急蒲田駅から徒歩7分の公共施設。メインアリーナ（約1,824㎡・総観客席4,012席）とサブアリーナ（約646㎡・固定席200席）のほか、弓道場や体育室、会議室など多彩な施設を備え、区民のスポーツ教室からプロスポーツ大会、プロレスなどの興行まで多彩なイベントが開催されています。



【物件概要】
所在地：東京都大田区東蒲田1丁目11番1号
延床面積：13,983㎡
構造・規模：RC造、地上2階建・地下2階
施主：大田区
設計：(株)石本建築事務所
施工：電気／新星電工(株)
竣工：2024年12月



メインアリーナ LED投光器アリーナビジョン①を採用し、スポーツ大会やプロレスなどの興行、テレビ中継にも対応

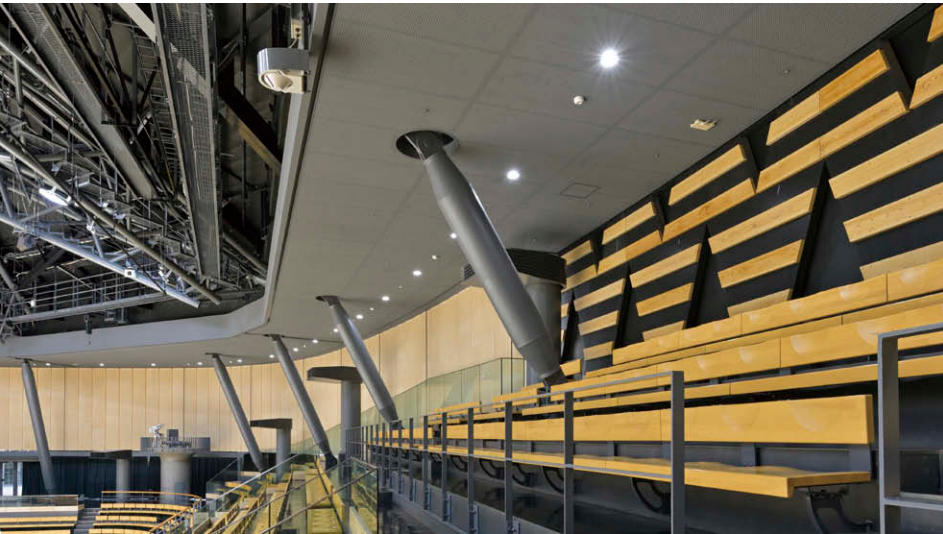
LED照明器具の導入で、メインアリーナでは約47%、サブアリーナでは約82%の消費電力を削減。

大田区総合体育館のメインアリーナでは、既設の1.5kWメタルハライドランプ投光器を、LED投光器アリーナビジョン1.5kW形メタルハライドランプ器具相当へ更新。フル点灯時の明るさは、これまでの水平面2,712ルクス・鉛直面照度1,118ルクスから、水平面4,086ルクス・鉛直面照度1,402ルクスへと向上しています。さらに、照明器具1台あたりの消費電力は1,570Wから825Wへ引き下げられ、約47%の消費電力削減が見込まれています。また、照度のムラを軽減するため配光は広角タイプを採用。テレビ放映にも適した照明環境を実現しています。

サブアリーナでは、既設の1kWメタルハライドランプ高天井用器具を、まぶしさ低減タイプのLED高天井器具1kW水銀ランプ器具相当へ更新。天井梁によって遮光されないよう、器具の取り付け位置を確認。均斉度を高め、平均照度は1,023ルクスから1,073ルクスへ向上し、さらに約82%の消費電力削減が見込まれています。また、メインアリーナとサブアリーナの間の通路となる屋外空間のピロティでは、LED一体形ダウンライト6000シリーズ軒下用を採用し、平均照度144ルクスを確保。日没後の観客の動線にやさしい明るさを提供しています。



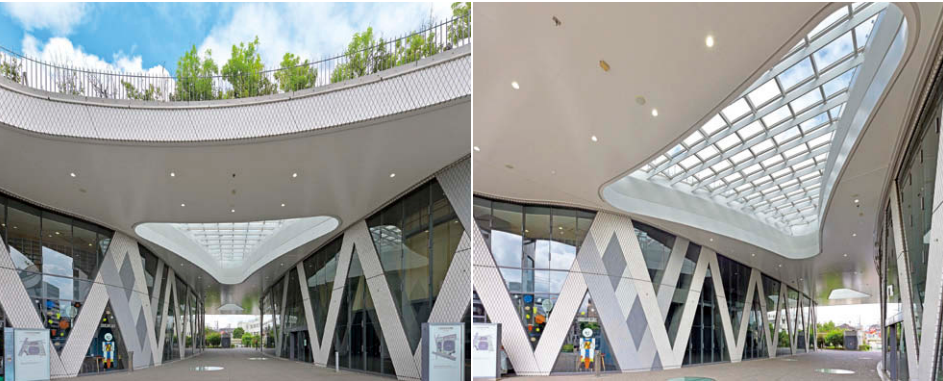
①LED投光器
アリーナビジョン ③LED高天井器具



メインアリーナ客席 LEDユニット交換形ダウンライト②を採用



サブアリーナ まぶしさ低減タイプのLED高天井器具③を採用し下面ガードを装着



ピロティ LED一体形ダウンライト6000シリーズ軒下用④を採用

主な掲載器具一覧					
設置場所	器 具 名（品名）		形 名	台数	備考
メインアリーナ	① LED投光器アリーナビジョン 1.5kW形メタルハライドランプ器具相当		BVP418-2S8	114	消費電力：825W
メインアリーナ客席	② LED ユニット交換形ダウンライト 一般形 白色反射板 2500シリーズ		LEKD253025N-LD9	74	消費電力：17.1W
サブアリーナ	③ LED高天井器具 1kW形水銀ランプ器具相当 広角タイプ まぶしさ低減タイプ		LEDJ34005DN-LD9	32	消費電力：174W
ピロティ	④ LED一体形ダウンライト 6000シリーズ 軒下用		LEKD60951N2-LD9	27	消費電力：45.0W